

ほっかい いっぱい みさきっ子

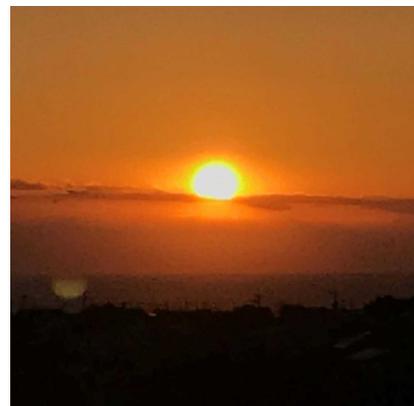


御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和元年度 1月号

令和2年の新年を迎え、2020年代へと時代は移っていきます。穏やかな年明けとなった元日の澄んだ青空を見上げながら、今年も良い年になりますようにと思いつつ、これからどのような時代を迎えるのだろう、世の中にどんな変化が起こるのだろう、という思いを巡らせた次第です。

1月7日より3学期がスタートしました。子どもたちの元気なあいさつ、しっかり話を聴く様子、授業に臨む姿勢、運動場を走り、長縄跳びの練習に励み、目標に向かって取り組み、協力し合い、友達と仲良く遊び、楽しく話す、それらの姿は、まさしく御前崎小学校の「ほっかい」を体現している姿です。

時代は変わろうとも、人として大切なことを日々子どもたちに教えられています。始業式での校長の話は、「日本一ほっかいな学校になろう」です。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



2020年初日の出～御前崎の海より

12月に実施した児童と保護者の学校評価に関するアンケート結果を報告します。

※4段階評価の「あてはまる・ややあてはまる」合計(%)

児童 回答人数：210人			保護者 回答人数：199人		
1	学校が楽しい	95	1	学校生活を楽しく送ってる	98
2	授業がわかりやすい	97	2	授業の内容を理解している	93
3	元気なあいさつをしている	92	3	進んで行動している	85
4	ほっかい見つけをしている	94	4	他の人と仲良く過ごしている	96
5	ほっかいを生かしている	91	5	ねばり強く取り組んでいる	82
6	進んで行動している	95	6	ほっかいパワーを知っている	96
7	友達と仲良くすごしている	96	7	職員は子どもをよく理解している	97
8	ねばり強く取り組んでいる	94	8	学校の教育に満足している	97
9	自分にはよいところがある	89	※1～5は子どもに対する評価 ※子どもは兄弟姉妹一人ずつ評価		
10	先生に気軽に相談できる	99			

評価90%以上が、児童9項目、保護者6項目と高い評価結果です。学校生活に喜びを感じ、物事に前向きに取り組んでいる様子がわかります。

しかしながら、100%ではありません。人数ですと1%は約2人です。「あまりあてはまらない・あてはまらない」と答えた児童、保護者の思いに心を寄せなければなりません。

児童の「自分にはよいところがある」、言い換えると「自己肯定感」が少し低めの評価です。自分のよさは他から認められて自覚するものです。子どもを「ほめる・認める」ことを、学校でも家庭でも更に増やしていきたいです。

保護者の「進んで行動」、「ねばり強く取り組む」も低めです。家庭での様子も含めての評価だと思いますが、学校でも、「自主性」や「粘り強さ・向上心」は課題であると感じています。この点は、3学期のみならず、求めたい児童の姿として来年度にも取り組んでいきます。

(文責 校長：植田)